令和9年度主要事業に関する提案



西城町熊野にある「熊野の大トチ」は国の天然記念物に指定されています。

根周り 12.2 メートル、樹高約 30 メートル、根元から２本の巨幹に分かれた中国地方最大級のトチノキとして知られ、映画のロケ地にもなるなど、渓流沿いにたたずむ姿は訪れる人を魅了します。

広島県　庄原市

令和９年度主要事業に関する提案

平素より、本市の行政運営につきましては、格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

また、中山間地域の活性化に向け多大なるご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、本市の令和９年度の主要事業は、次のとおりであります。

つきましては、これらの事業の実施に係る予算措置について格別のご配慮をお願い申し上げます。

庄　原　市　長　八　谷　　恭　介

庄原市議会議長　桂　藤　　和　夫

目　　次

農村基盤の整備

（広島県農林水産局・内閣府・農林水産省関係）

農業用施設の整備について…… 1

治山事業について…… 3

林道の整備について…… 5

生活基盤の整備

（広島県土木建築局・財務省・国土交通省関係）

道路網の整備について

高規格道路「江府三次道路」の整備促進…… 7

国道の早期整備…… 9

国道の整備要望…… 11

主要地方道の早期整備…… 13

主要地方道の整備要望…… 15

一般県道の早期整備…… 17

一般県道の整備要望…… 19

市道の改良整備…… 21

交通安全施設の整備について…… 22

道路の老朽化対策について…… 23

河川整備事業の促進について

一級河川整備促進…… 24

河川維持修繕事業（堆積土砂と樹木の除去）…… 25

砂防事業の促進について…… 26

急傾斜地崩壊対策事業の促進について…… 27

都市基盤の整備

（広島県土木建築局・国土交通省関係）

中心市街地の道路網の整備について

都市計画道路の早期整備…… 28

都市計画道路の推進…… 30

公共下水道の長寿命化の推進について…… 32

地域振興基盤の整備

（広島県環境県民局関係）

比婆道後帝釈国定公園「帝釈峡」内の環境整備について…… 34

比婆道後帝釈国定公園「比婆山連峰」の環境整備について…… 36

（国土交通省関係）

鉄道再構築に関する支援制度の拡充について…… 38

（広島県地域政策局関係）

芸備線再構築方針を踏まえた持続可能なまちづくりへの連携支援について…… 39

農 村 基 盤 の 整 備



ほ場整備事業【田口地区】



農業用施設整備【ため池廃止 田部池２号池】



治山事業【西城・平子地区】



農業用施設整備【ため池整備 大水口池地区】

提案の主旨

農業用施設の整備について
（農林水産省　農村振興局）（広島県農林水産局）

現状及び課題

【現状】

本市面積の84.2%を山林が占め、農地は6.6%の82.6㎢であり、平坦で広範な場所は少なく、その多くが河川沿いや谷沿いなどに小規模に農地が点在する中山間地域で、農地の整備や水源の確保に苦慮しています。

【課題】

本市の農業は、人口減少や過疎化の進行に加え、農業後継者不足と高齢化等に伴う耕作放棄地の増大など農業経営の環境は深刻な状況下にあり、農事組合法人・企業等の担い手が持続可能な農業経営をするための農業基盤整備が重要な課題となっています。

また、本市には684箇所の防災重点農業用ため池があり、ため池診断の結果により危険な状態とされたため池は「改修」し、農業利用がないため池は人的被害を及ばさないよう「廃止」を推進していますが、防災重点農業用ため池の数が多く、事業化に向けて時間が掛かっているのが現状です。

提案の内容

地域農業の基盤整備を図るため、農業施設整備事業の予算拡充に格別のご配慮をお願い申し上げます。

事　業		事業別優先順位	提案箇所	事業概要
県営事業	ため池整備工事 （農村地域防災減災事業）	1	①　建目池地区（庄原地区）	ため池堤体工
		2	②　番目１号池地区（庄原地区）	ため池堤体工
		3	③　新池地区（庄原地区）	ため池堤体工
		4	④　権現池地区（庄原地区）	ため池堤体工
		5	⑤　苗田池地区（庄原地区）	ため池堤体工
	ため池廃止工事（庄原４期） （農業水路等長寿命化・防災減災事業等）	1	⑥　山田池外１地区（庄原地区）	ため池廃止
	ため池耐震診断 （農業水路等長寿命化・防災減災事業等）	1	⑦　ため池診断（庄原市内１池）	ため池診断
	農地整備工事	1	⑧　山内地区（庄原地区）	区画整備
団体営事業	用水路整備工事 （農業水路等長寿命化・防災減災事業）	1	⑨　田口地区（口和地区）	用排水路工
	頭首工改修工事 （農業水路等長寿命化・防災減災事業）	2	⑩　田原地区（庄原地区）	頭首工改修
	ため池廃止工事（庄原市１期） （農業水路等長寿命化・防災減災事業等）	3	⑪　道の谷池外4地区	ため池廃止
	ため池廃止工事（庄原市３期） （農業水路等長寿命化・防災減災事業等）	4	⑫　万能池外18地区	ため池廃止
	ため池遠隔監視システム（庄原市４期） （農業水路等長寿命化・防災減災事業等）	5	⑬　扇谷池池外9地区	ため池監視

ストック効果

○　現在利用されているため池の改修工事や、利用者がいないため池の廃止工事を行うことにより、集中豪雨や地震等による人的被害や人家等への浸水被害を未然に防ぐことができます。

○　農業基盤整備により、受益地の持続的な農業経営が可能となり、農業生産体制の強化が図られます。

位置図

① 建目池



③ 新池



② 番目１号池



※地図上番号は、下記提案箇所欄の番号を示します。

※ため池廃止要望箇所は、箇所が多いため、ため池名のみ記載しています。

⑬庄原市４期・ため池監視装置設置予定箇所

扇谷池、国兼池、庄田池、王池、矢の風呂上池、萩ヶ谷池、石仏上池、王子池、永迫下池、中の柴新池

⑥庄原４期・ため池廃止工事要望箇所

山田池、堺ヶ谷池、（風呂屋池、広沢池、蔵内池、福場池、井野小田池、寺恩寺池、大宇根池）

（　）は県単独事業

⑪庄原市１期・ため池廃止工事要望箇所

道の谷池、宮の後池、倉尾池、和田池、熊原池

⑫庄原市３期・ため池廃止工事要望箇所

藤原池、梶岡池、今田屋池、土井原池、赤木池、栃木２号池、保光池、大林池、黒川池、天池、神殿谷池、仁井屋廻り池、高柴２号池、宗吉池、扇池、山の神池、中の奥池、万能池、万能上池

提案箇所【再掲】

事業		事業別優先順位	提案箇所	事業概要
県営事業	ため池整備工事（農村地域防災減災事業）	1	① 建目池地区（庄原地区）	ため池堤体工
		2	② 番目１号池地区（庄原地区）	ため池堤体工
		3	③ 新池地区（庄原地区）	ため池堤体工
		4	④ 権現池地区（庄原地区）	ため池堤体工
		5	⑤ 苗田池地区（庄原地区）	ため池堤体工
	ため池廃止工事（庄原４期）（農業水路等長寿命化・防災減災事業等）	1	⑥ 山田池外１地区（庄原地区）	ため池廃止
	ため池耐震診断（農業水路等長寿命化・防災減災事業等）	1	⑦ ため池診断（庄原市内１池）	ため池診断
	農地整備工事	1	⑧ 山内地区（庄原地区）	区画整備
団体営事業	用水路整備工事（農業水路等長寿命化・防災減災事業）	1	⑨ 田口地区（口和地区）	用排水路工
	頭首工改修工事（農業水路等長寿命化・防災減災事業）	2	⑩ 田原地区（庄原地区）	頭首工改修
	ため池廃止工事（庄原市１期）（農業水路等長寿命化・防災減災事業等）	3	⑪ 道の谷池外４地区	ため池廃止
	ため池廃止工事（庄原市３期）（農業水路等長寿命化・防災減災事業等）	4	⑫ 万能池外18地区	ため池廃止
	ため池遠隔監視システム（庄原市４期）（農業水路等長寿命化・防災減災事業等）	5	⑬ 扇谷池池外9地区	ため池監視

提案の主旨

治山事業について

（林野庁）（広島県農林水産局）

現状及び課題

【現状】

本市は、1,246.49k㎡と広大な面積を有し、その84.2%は森林が占め、集落の大半が狭隘な地形となっており、人家に裏山等が隣接しています。

【課題】

平成30年７月西日本豪雨災害では、本市においても土砂の流出被害が多発し、多くの事業要望を受けております。加えて、令和７年９月に総領町を中心とする豪雨災害が発生しました。

令和７年度において災害関連緊急治山事業(県営)により渓間工事を実施していますが、治山事業の要望箇所がさらに増加しており、以前からの要望も含めた全てに対応できていない状況にあります。






写真：令和７年９月豪雨による土石の流出

提案の内容

治山事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から住民の生命・財産を護り、また、水資源のかん養、生活環境の保全・形成等に資する重要な事業であり、安全で住みよい地域の確保・定住条件の整備等を図る上で必要不可欠なものであります。

つきましては、県営治山事業の予算拡充に格別のご配慮をお願い申し上げます。

優先順位	提案箇所優先順位	事業概要
1	緊急総合治山事業 ① 渓間工事（総領町・段畠(だんばた)地区）	渓間工
2	② 渓間工事（総領町・黒目(くろめ)地区）	渓間工
3	③ 八幡山(はちまんやま)地区(東城地区)　【平成30年７月災害】	山腹工
4	④ 篠原川西山(しのはらかわにしやま)地区(高野地区)　【令和３年７月災害】	渓間工

ストック効果

○　荒廃した渓流の侵食防止や不安定な土石の移動を抑制し、森林環境の安定化が図られます。

○　下流域への山地災害の発生を抑制できます。

○　森林を守り育てることにより森林環境の有する崩壊防備機能が高まります。

○　荒廃した山腹斜面の不安定土砂の移動を抑止し、緑化環境機能が高められます。

位置図



※地図上番号は、下記優先順位欄の番号を示します。

提案箇所【再掲】

優先順位	提案箇所優先順位	事業概要
1	緊急総合治山事業 ① 渓間工事（総領町・段畠（だんばた）地区）	渓間工
2	② 渓間工事（総領町・黒目（くろめ）地区）	渓間工
3	③ 八幡山（はちまんやま）地区（東城地区） 【平成30年７月災害】	山腹工
4	④ 篠原川西山（しのはらかわにしやま）地区（高野地区） 【令和３年７月災害】	渓間工

提案の主旨

林道の整備について
（内閣府・林野庁）（広島県農林水産局）

現状及び課題

【現状】

本市は、1,246.49k㎡と広大な面積を有し、その84.2%に当たる1,049.24k㎡（104,924ha）を森林が占めており、地域住民の生活に密着した里山から、林業生産が行われる人工林帯、さらには、大径木の広葉樹が広がる樹林帯まで多様な林分構成になっています。

【課題】

林地の傾斜は35度未満が大半であり、伐採の作業体系は路網を中心としたものになっています。

これらの人工林資源を利用・管理するにあたり、森林管理に必要な路網の整備が進んでいないことなどが課題となっています。

提案の内容

林道整備は、主間伐等の施業コスト軽減や森林素材の流通拡大など、森林管理・林業振興の面において多大な効果をもたらすことはもちろん、地域の新たな基幹道路として、寄与するものであります。提案４路線は、平成30年７月西日本豪雨災害、令和２年７月豪雨災害及び令和３年７月、８月豪雨の度重なる災害により、工事発注を見合わせ、全ての路線で計画が２～３年の遅れが生じていることから、県代行林道整備事業の予算拡充に格別のご配慮をお願い申し上げます。

優先順位	事業	提案箇所
1	地方創生整備推進交付金事業	① 河内高野線（東城地区）
2	地方創生整備推進交付金事業	② 芝山線（東城地区）
3	地方創生整備推進交付金事業	③ 横谷高暮線（高野地区）
4	地方創生整備推進交付金事業	④ 界谷小峠その２線（比和地区）

ストック効果

○　施業地の集約化・団地化の計画が容易に策定可能であるほか、効率的な作業が可能です。
○　高性能林業機械の導入が可能で、作業の低コスト化が実現できます。
○　地域の新たな基幹道路になります。
○　地域通貨を活用した、市民参加による里山づくり、「木の駅プロジェクト」が促進されます。

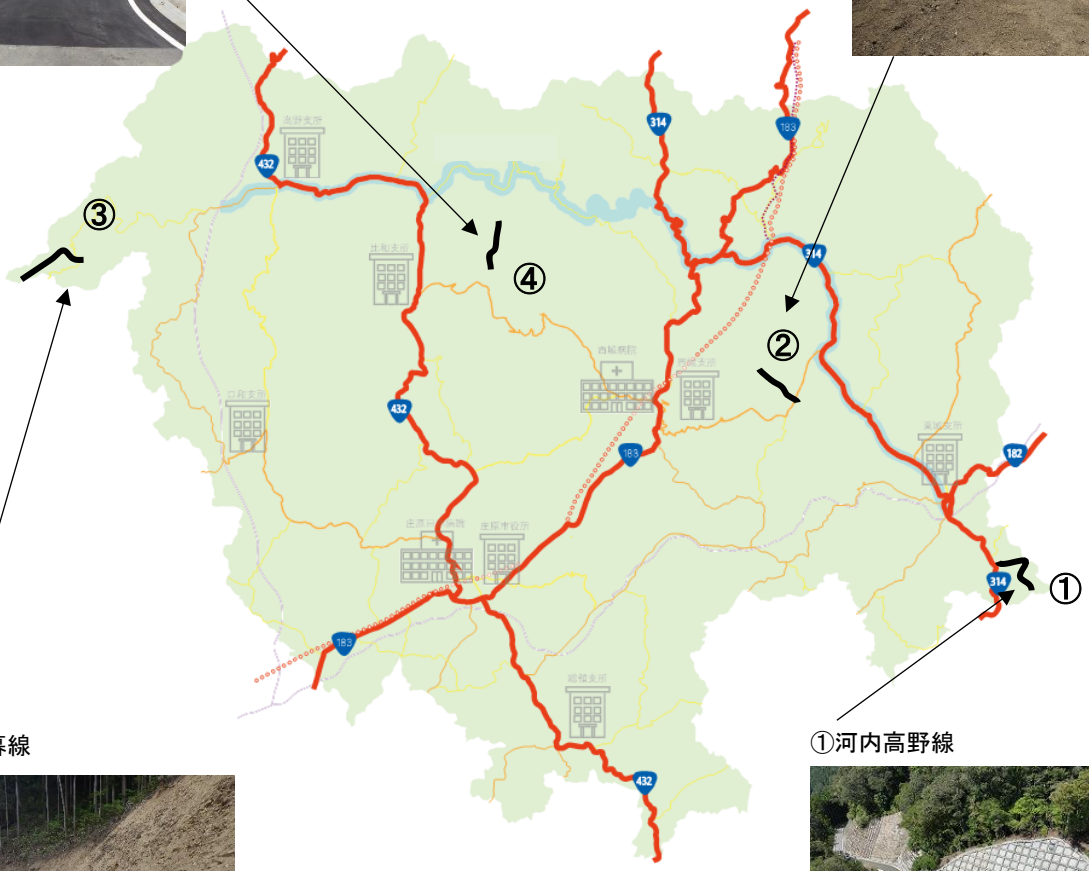
位置図

④界谷小峠その２線



②芝山線

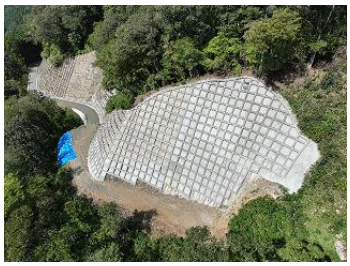




③横谷高暮線



①河内高野線



提案箇所【再掲】

優先順位	事業	提案箇所
1	地方創生整備推進交付金事業	① 河内高野線（東城地区）
2	地方創生整備推進交付金事業	② 芝山線（東城地区）
3	地方創生整備推進交付金事業	③ 横谷高暮線（高野地区）
4	地方創生整備推進交付金事業	④ 界谷小峠その２線（比和地区）

生 活 基 盤 の 整 備





工事が進む高規格道路「江府三次線」鍵掛峠道路

提案の主旨

道路網の整備について
高規格道路「江府三次道路」の整備促進
広島備北地区～鳥取日野地区
（財務省・国土交通省 道路局）（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】

一般国道１８３号は、鳥取県日野郡と広島県備北地域の交流・連携を図るための主要路線であり、また、大規模災害時には防災拠点である三次・米子エリアを連絡する第１次緊急輸送道路にも指定され、両地域において重要な路線となっております。

【課題】

冬季には積雪が１ｍを超える豪雪地帯である鳥取・広島両県の県境部は、その急峻な地形から線形不良区間が連続し、大型車の離合困難箇所が多く、スリップ事故や衝突事故の多発、道路法面の崩落による交通遮断の発生、異常気象時の通行規制区間の存在などにより、交通の難所となっております。

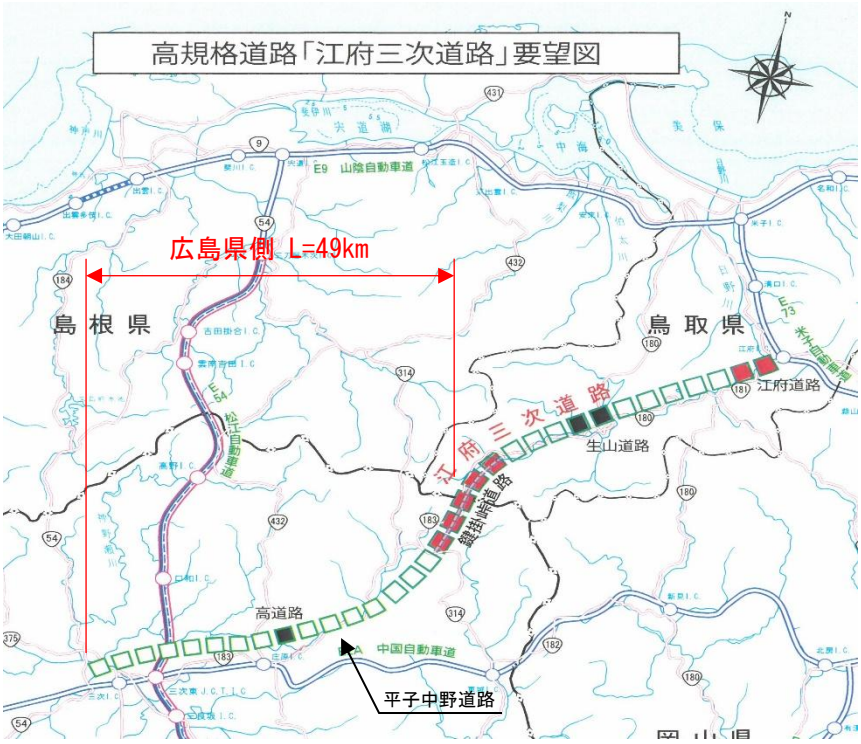
提案の内容

平成17年４月に鍵掛峠（かっかけとうげ）道路、全長＝12km（県境から広島県側８km、鳥取県側４km）が直轄権限代行により事業着手されましたが、県内総延長約49kmの内、供用済みは「高（たか）道路」の３kmのみであります。

当路線の重要性に鑑み、次の事項に関し格別のご配慮をお願い申し上げます。

■「鍵掛峠（かっかけとうげ）道路」の早期開通に向け着実な進捗を図られること。

■広島県側延長49kmの内、未着手区間の38kmについて事業着手されること。



凡 例

・・・整備区間

・・・完成区間

・・・未着手区間



ストック効果


鍵掛峠道路
ストック効果の早期発現に期待
中山間地域の生活を支える命の道
国道183号は三坂地区の住民にとって生命線となる重要な幹線道路ですが、幅員狭小や線形不良区間が連続する上、冬季の積雪が厳しく安定した交通の確保ができていません。
■線形不良区間が集中する鍵掛峠道路区間の状況■
【一般国道183号現道部の線形不良箇所】
急カーブ（曲線半径 R<150m）
急勾配（縦断勾配 i>5%）
一般国道183号 現道部
74箇所
10箇所 (5.0km)
凡例
一般国道
主要地方道
一般県道
曲線半径R<150m箇所
縦断勾配i>5%区間
急カーブが連続
急勾配が連続
急カーブが連続
急カーブが連続
急勾配が連続
▲積雪による大型車の離合困難
現道（広島県側）の最急勾配：12.5%
広島県
庄原市
三坂地区
現道（鳥取県側）の最急勾配：10.4%
鳥取県
日南町
鍵掛峠道路 L＝12km W＝10m
■消防署から現場までのアクセス時間→往復で10分の短縮効果が見込まれる■
庄原消防署西城出張所
整備前（通常時）国道183号利用
17分
整備前（冬季）国道183号利用
30分
鍵掛峠道路整備後 5分短縮
25分
西城町三坂地区
整備前（通常時）国道183号利用
21分
整備前（冬季）国道183号利用
37分
鍵掛峠道路整備後 5分短縮
33分
西城市民病院
※短縮時間は四捨五入の関係で表示時間と合わない場合があります

提案の主旨

道路網の整備について　（県の道路整備計画 計上路線）
国道の早期整備
国道３１４号（東城バイパス２工区）東城町川西
（財務省・国土交通省 国土政策局）（土木建築局）

現状及び課題

【現状】
　国道３１４号は、福山市の国道２号から、島根県雲南市の国道５４号に至る主要幹線道路であり、また、中国縦貫自動車道、松江自動車道に連絡し、山陰地方及び山陽地方の一体的発展と交流の促進、観光振興など、中山間地域の発展を担う極めて重要な路線であります。

【課題】
　地域経済、産業の活性化、快適で豊かな生活環境の創造を図るため、本路線の改良整備が推進されておりますが、未整備区間800mは、渋滞・事故が多発する交通の隘路区間となっており、歩行者やドライバーにとって大変危険な状況になっています。

提案の内容

庄原市東城町の市街地バイパス区間800mの早期整備について格別のご配慮をお願い申し上げます。

路線名	提案箇所	事業概要
国道３１４号	東城町川西（とうじょうちょうかわにし）	バイパスの整備

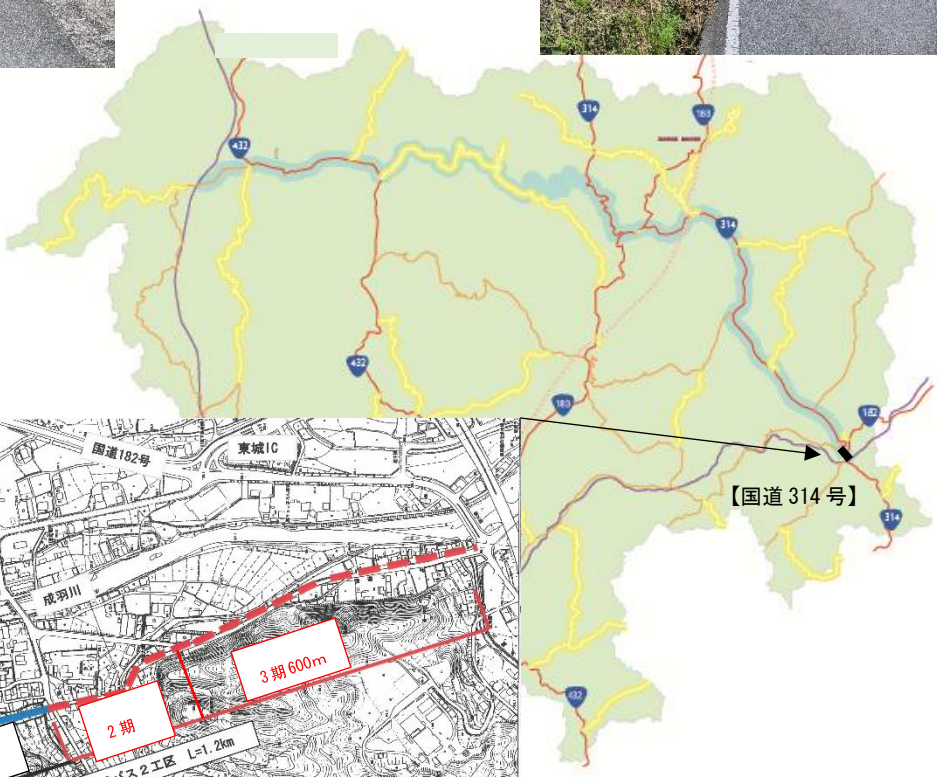
ストック効果

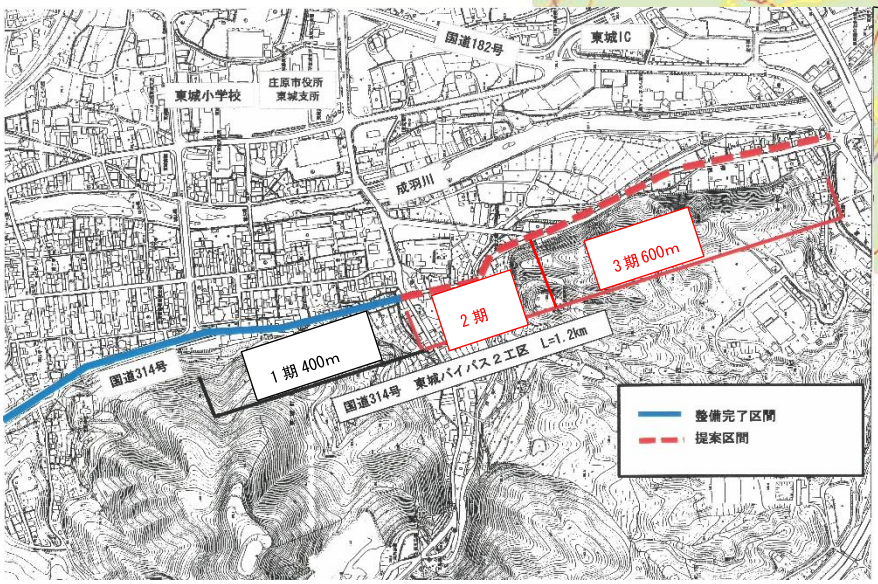
○　沿線の土地利用や交流の促進、市街地内交通の円滑化
○　歩行者の安全確保
○　観光や地域産業による都市と地方の交流の促進

位置図









提案箇所【再掲】

路線名	提案箇所	事業概要
国道３１４号	東城町川西（とうじょうちょうかわにし）	バイパスの整備

提案の主旨

道路網の整備について
国道の整備要望

（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】

本市を貫く中国縦貫自動車道や東西に横断する国道１８３号、南北に横断する国道４３２号及び市の東部を通過する国道１８２号等の広域幹線道路は、観光交流の促進や地域経済活動による地域振興を図る上でも重要な路線であるとともに、地域住民の生活道として地域生活の安定を担っております。

【課題】

中山間地域の衰退は待ったなしの状況であり、地方創生の観点からも、規格の高い国道の整備は観光振興や地域経済の成長に必要不可欠です。また、地域住民の安心安全な生活環境を提供するためにも早期の整備が必要であります。

提案の内容

合併後における市民の一体感の醸成、交流促進を図る上で、極めて重要な骨格軸に位置付けられています。次の路線の整備着手に格別のご配慮をお願い申し上げます。

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要
１	国道１８２号	東城町福代（とうじょうちょうふくしろ）	事故多発区間の改良
２	国道４３２号	川手町（かわてちょう）	バイパスの整備 （交通安全等の確保）

ストック効果

○　危険箇所の解消による交通事故の減少
○　通学する児童の安全確保

位置図









提案箇所【再掲】

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要
１	国道１８２号	東城町福代（とうじょうちょうふくしろ）	事故多発区間の改良
２	国道４３２号	川手町（かわてちょう）	バイパスの整備 （交通安全等の確保）

提案の主旨

道路網の整備について　（県の道路整備計画 計上路線）
主要地方道の早期整備
（財務省・国土交通省 国土政策局）
（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】
　主要地方道は、備北地域における生活圏域の相互交流、社会経済活動や地域振興、観光振興などを促進する上で重要な役割を果たす路線であります。

【課題】
　未改良であるため、線形不良で見通しが悪く、加えて道路幅が狭いため離合困難箇所が多く残っており、冬期には積雪等により交通の難所となっております。

提案の内容

次の路線の早期整備に格別のご配慮をお願い申し上げます。

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要	備考
1	西城比和線	比和町坊地	幅員拡幅	県単独事業 合併支援道路
2	足立東城線	東城町長者山	幅員拡幅	県単独事業
3	西城比和線	西城町黒谷上	幅員拡幅	交付金事業 合併支援道路
4	東城西城線	東城町保田	幅員拡幅	交付金事業 合併支援道路
5	甲山甲奴上市線	総領町上市～抜湯	幅員拡幅	県単独事業

ストック効果

○　沿線住民のライフラインである道路の安全性向上
○　通勤、通学時間の短縮
○　合併支援道路として広域ネットワーク整備による地域活性化
○　交通円滑化による病院への医療患者搬送時間の短縮、地域包括ケアシステムの構築に寄与

位置図











提案箇所【再掲】

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要	備考
1	西城比和線（さいじょうひわせん）	比和町坊地（ひわちょうぼうぢ）	幅員拡幅	県単独事業 合併支援道路
2	足立東城線（あしだちとうじょう）	東城町長者山（とうじょうちょうちょうじゃやま）	幅員拡幅	県単独事業
3	西城比和線（さいじょうひわせん）	西城町黒谷上（さいじょうちょうくろたにかみ）	幅員拡幅	交付金事業 合併支援道路
4	東城西城線（とうじょうさいじょう）	東城町保田（とうじょうちょうやすだ）	幅員拡幅	交付金事業 合併支援道路
5	甲山甲奴上市線（こうざんこうぬかみいち）	総領町上市～抜湯（そうりょうちょうかみいち～ぬくゆ）	幅員拡幅	県単独事業

提案の主旨

道路網の整備について
主要地方道の整備要望

（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】

主要地方道は、備北地域における生活圏域の相互交流、社会経済活動や地域振興を促進する上で重要な役割を果たす路線であります。

【課題】

未改良であるため、線形不良で見通しが悪く、加えて道路幅が狭いため離合困難箇所が多く残っており、冬期には積雪等により交通の難所となっております。

提案の内容

次の路線について、県の道路整備計画へ計上いただくとともに、整備着手について格別のご配慮をお願い申し上げます。

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要	備考
1	東城西城線（とうじょうさいじょう）	東城町下森（とうじょうちょうしもり）	幅員拡幅	合併支援道路
2	庄原東城線（しょうばらとうじょう）	東城町雨連（とうじょうちょうあめつら）	線形改良	合併支援道路
3	三次高野線（みよしたかの）	口和町竹地谷（くちわちょうたけちだに）(札が峠（ふだがたお）)	バイパス	尾松代替道路
4	足立東城線（あしだちとうじょう）	東城町粟田小室（とうじょうちょうあわたこむろ）	幅員拡幅	

ストック効果

○　沿線住民のライフラインである道路の安全性向上
○　合併支援道路として通勤、通学及び病院への医療患者搬送時間の短縮
○　ヘリポートへのアクセス向上による、医療緊急患者搬送時間の短縮
○　指定避難場所へのアクセス機能の向上
○　地方バス路線の走行性向上による、集落の機能維持

位置図









提案箇所【再掲】

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要	備考
1	東城西城線（とうじょうさいじょう）	東城町下森（とうじょうちょうしももり）	幅員拡幅	合併支援道路
2	庄原東城線（しょうばらとうじょう）	東城町雨連（とうじょうちょうあめつら）	線形改良	合併支援道路
3	三次高野線（みよしたかの）	口和町札が峠（くちわちょうふだ　たお）	バイパス	尾道松江代替道路
4	足立東城線（あしだちとうじょう）	東城町粟田小室（とうじょうちょうあわたこむろ）	幅員拡幅	

提案の主旨

道路網の整備について　（県の道路整備計画 計上路線）
一般県道の早期整備
（財務省・国土交通省 道路局、国土政策局）
（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】

一般県道は、地域住民の暮らしを支える重要な路線であり、救急医療や災害対策、地域振興、観光振興などに必要な路線です。

【課題】

未改良であるため、線形不良で見通しが悪く、加えて道路幅が狭いため離合困難箇所が多く、冬期には積雪等により交通の難所となっており、観光周遊及び沿線住民の通行に支障をきたしております。

提案の内容

次の路線の早期整備に格別のご配慮をお願い申し上げます。

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要	備考
1	比婆山公園線	西城町熊野上尺田～上	幅員拡幅	交付金事業
2	実留春田線	春田町野本工区	幅員拡幅	県単独事業
3	下千鳥小奴可停車場線	東城町内堀	幅員拡幅	県単独事業

ストック効果

○　観光や地域産業による都市と地方の交流の促進
○　沿線住民のライフラインである道路の安全性向上

位置図







提案箇所【再掲】

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要	備考
1	比婆山公園線	西城町熊野上尺田～上	幅員拡幅	交付金事業
2	実留春田線	春田町野本工区	幅員拡幅	県単独事業
3	下千鳥小奴可停車場線	東城町内堀	幅員拡幅	県単独事業

提案の主旨

道路網の整備について
一般県道の整備要望

（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】

一般県道は、地域住民の暮らしを支える重要な路線であり、救急医療や災害対策、地域振興などに必要な路線です。

【課題】

未改良であるため、線形不良で見通しが悪く、加えて道路幅が狭いため離合困難箇所が多く、冬期には積雪等により交通の難所となっており、観光周遊及び沿線住民の通行に支障をきたしております。

提案の内容

次の路線について、県の道路整備計画へ計上いただき、整備着手について格別のご配慮をお願い申し上げます。

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要
1	道後山公園線（どうごやまこうえん）	西城町三坂（さいじょうちょうみさか）	幅員拡幅 （バイパス整備）
2	下門田泉吉田線（しもんでいずみよしだ）	高野町高暮（たかのちょうこうぼ）	幅員拡幅 （バイパス整備）
3	実留春田線（さねどめしゅんだ）	実留町上谷（さねどめちょうかみだに）	幅員拡幅

ストック効果

○　観光や地域産業による都市と地方の交流の促進
○　観光周遊性の向上
○　沿線住民のライフラインである道路の安全性向上

位置図







提案箇所【再掲】

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要
1	道後山公園線（どうごやまこうえん）	西城町三坂（さいじょうちょうみさか）	幅員拡幅 （バイパス整備）
2	下門田泉吉田線（しもんでいずみよしだ）	高野町高暮（たかのちょうこうぼ）	幅員拡幅 （バイパス整備）
3	実留春田線（さねどめしゅんだ）	実留町上谷（さねどめちょうかみだに）	幅員拡幅

提案の主旨

道路網の整備について
市道の改良整備
（内閣府・財務省・国土交通省 道路局）
（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】

本市は、1246.49ｋ㎡の広大な面積を有し、地勢は、標高150～200ｍの盆地をはじめ、全般に穏やかな起伏状の台地を形成しておりますが、北部の県境周辺部は1,000ｍ級の山々に囲まれ、急峻な地形となっており、点在する集落と公共施設や国県道を結ぶ市道の延長は1,608ｋｍにも及んでおります。

【課題】

地域住民にとって市道は、国道・主要地方道・一般県道を繋ぐ重要な生活道路ですが、幅員が狭く、車の通行の際、歩行者の退避スペースがないなど交通安全上非常に危険な箇所や、川と急峻な山が迫り、狭隘、かつ線形不良な市道が多数あり早急な対応が求められております。

提案の内容

次の路線の改良整備に格別のご配慮をお願い申し上げます。

事業	提案箇所	事業概要	備考
社会資本整備総合交付金事業	皆原線（口和町向泉）	幅員拡幅	交付金事業
地方創生道整備推進交付金事業	西城小奴可線（西城町八鳥）	幅員拡幅	交付金事業
	入江的場線（西城町入江）	幅員拡幅	交付金事業
	久代中央線（東城町久代）	幅員拡幅	交付金事業
	川鳥陰地中央線（東城町川鳥）	幅員拡幅	交付金事業
	戸郷下谷線（実留町）	幅員拡幅	交付金事業

ストック効果

○ 道路網の構築による生活基盤の強化
○ 災害や緊急時などの避難路としての防災機能の強化
○ 危険箇所の解消による交通事故の減少
○ 通勤通学や通院など生活の利便性向上

提案の主旨

交通安全施設の整備について
（財務省・国土交通省 道路局）（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】

通勤通学路に歩道がないため事故危険箇所が多く存在しております。

【課題】

国道及び県道において、歩行者及び自転車利用者の安全を確保するとともに、高齢者、障害者等に配慮した安全かつ快適な道路空間の整備を図ることが、緊急な課題となっております。



※歩道が無く歩行者にとって危険である。
国道 183 号（西城町奥名）

提案の内容

通学路交通安全プログラムに基づき、次の施設の早期整備に格別のご配慮をお願い申し上げます。

【国道】

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要	備考
1	国道183号	西城町平子（さいじょうちょうひらこ）	歩道整備	補助事業
2	国道183号	西城町奥名（さいじょうちょうおくな）	歩道整備	補助事業
3	国道432号	高野町新市（たかのちょうしんいち）	歩道整備	交付金事業
4	国道432号	高野町（たかのちょう）	歩道整備	交付金事業
5	国道183号	尾引町（おびきちょう）	歩道整備	交付金事業

【一般県道】

優先順位	路線名	提案箇所	事業概要	備考
1	新市三次線（しんいちみよし）	口和町永田（くちわちょうながた）	歩道整備	交付金事業

ストック効果

○　通学路に指定されており、通学する児童の安全確保が図られます。
○　道路交通の安全確保・交通事故の減少
○　通勤や通院など生活の利便性向上

提案の主旨

道路の老朽化対策について
（財務省・国土交通省 道路局）（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】

本市が管理する道路橋梁は1,216橋あり、コンクリート橋（ＲＣ橋・ＰＣ橋）が全体の７割、橋長15m未満の橋梁が全体の８割を占め、これらの橋梁は高度経済成長期に建設されており、一斉に更新期を迎えることが予想されます。

高齢化橋梁の急速な増大に対応するため、アセットマネジメントの考え方を導入し、維持管理手法を従来の事後保全型から予防保全型に移行するため、令和７年度に庄原市橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行い、損傷状況の点検と計画的な工事（補修・架替え）を実施しています。

しかしながら、道路法改正により５年間に１回の点検が義務付けられ、本市の厳しい財政状況では点検修繕費が大きな負担となっております。

【課題】

メンテナンスの実施にあたり財政面で課題を抱えております。

提案の内容

メンテナンスを確実に行うため、点検や修繕にかかる予算の確保と、修繕の完了した健全度Ⅰの点検内容の見直しによる点検費用の軽減についてご検討ください。













ストック効果

○　インフラ施設の安全確保と適正管理
○　ライフサイクルコスト縮減
○　防災機能の強化

提案の主旨

河川整備事業の促進について
一級河川整備促進
（財務省・国土交通省　水管理・国土保全局）
（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】
　本市の河川は、昭和47年の豪雨災害以後、河川整備によって一部は改修されましたが、未改修の河川も多い状況です。

【課題】
　平成30年７月の豪雨により、本市では成羽川や西城川が氾濫し、近隣の家屋等への甚大な被害が発生しております。

提案の内容

次の河川の早期改修及び整備着手に格別のご配慮をお願い申し上げます。

優先順位	等級	河川名	提案箇所	事業概要	備考
1	一級河川	成羽川	東城町大橋～五反田橋	護岸工	促進要望（公共事業）
2	一級河川	西城川	本町～高町	護岸工	促進要望（公共事業）
3	一級河川	西城川	西城町（可愛橋）～川西町	護岸工	促進要望（県単独事業）
4	一級河川	国兼川	七塚町～山内町	護岸工	促進要望（県単独事業）
5	一級河川	成羽川	東城町小奴可	護岸工	整備要望
6	一級河川	福代川	東城町福代	護岸工	整備要望

西城川



成羽川（東城町浜栄町地区）



ストック効果

○　浸水被害が軽減されることにより、地域の安全・安心が確保されます。
○　治水能力の向上により、高齢者や要援護者等の避難時間の確保が図られます。
○　増水時の橋梁の通行が確保されることにより、避難・防災活動の円滑が図られます。

提案の主旨

河川整備事業の促進について
河川維持修繕事業（堆積土砂と樹木の除去）
（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】

昭和47年の豪雨災害以降、河川の改修整備が進みましたが、今日では年月の経過により土砂の堆積等が顕著となっております。

神野瀬川の現況



西城川の現況



田総川の現況



【課題】

近年、頻発化する豪雨により、土砂が更に堆積し河床が上昇しております。

また、河川内の樹木が流水を阻害しているため、地域住民の不安が高まっております。

提案の内容

市内河川の堆積土砂と樹木の除去に格別のご配慮をお願い申し上げます。

【主な箇所】

河川名	提案箇所	事業概要
一級河川西城川（さいじょう）	宮内町（みやうちちょう）、高町（たかまち）	浚渫・樹木除去
一級河川神野瀬川（かんのせ）	高野町（たかのちょう）	浚渫・樹木除去
一級河川成羽川（なりわ）	東城町（とうじょうちょう）	浚渫・樹木除去
一級河川本村川（ほんむら）	実留町（さねどめちょう）	浚渫・樹木除去
一級河川田総川（たぶさ）	総領町（そうりょうちょう）	浚渫・樹木除去

ストック効果

○　浚渫により河川の流下断面が確保され、地域の安全・安心が確保されます。

○　樹木の除去により、河川環境の向上に寄与します。

提案の主旨

砂防事業の促進について
（財務省・国土交通省　水管理・国土保全局）
（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】

本市は、北部に中国山地を、東部・南部にその支脈が展開する起伏の激しい地形と流紋岩、安山岩を基岩とする崩壊しやすい地質からなっています。

平成30年７月の豪雨災害では、市内の渓流から大量の土石が流出し、家屋や農地等に甚大な被害が発生しています。



市場川

【課題】

市内全域で1,624箇所の土石流に係る土砂災害警戒区域が存在し、集中豪雨により甚大な被害をもたらすことが予測されます。

提案の内容

土砂災害発生の危険性の高い、次の渓流整備の早期完了に格別のご配慮をお願い申し上げます。

【補助事業】

優先順位	河川名	提案箇所	事業概要
1	本谷川（ほんたに）	総領町（そうりょうちょう）	堰堤工
2	市場川（いちば）	高町（たかまち）	渓流保全工
3	下領家右下谷①（しもりょうけみぎしたたに）	総領町（そうりょうちょう）	堰堤工
4	学恩寺川（がくおんじ）	東城町（とうじょうちょう）	堰堤工
5	宮奥谷川（みやおくたに）	比和町（ひわちょう）	堰堤工
6	忍地沖川（にんちおき）	比和町（ひわちょう）	堰堤工
7	千代谷川（ちよだに）	西城町（さいじょうちょう）	堰堤工
8	上本谷（かみほんだに）	口和町（くちわちょう）	堰堤工

【単独事業】

優先順位	河川名	提案箇所	事業概要
1	大内谷川（おおうちだに）	濁川町（にごりかわちょう）	渓流保全工
2	高橋川（たかはし）	高町（たかまち）	渓流保全工

ストック効果

○　土石流災害の危険から集落が保全されます。
○　地域住民の安全・安心が確保されます。
○　災害時の避難経路の確保や避難所の保全が図られます。

提案の主旨

急傾斜地崩壊対策事業の促進について
（財務省・国土交通省 水管理・国土保全局）
（広島県土木建築局）

現状及び課題

【現状】

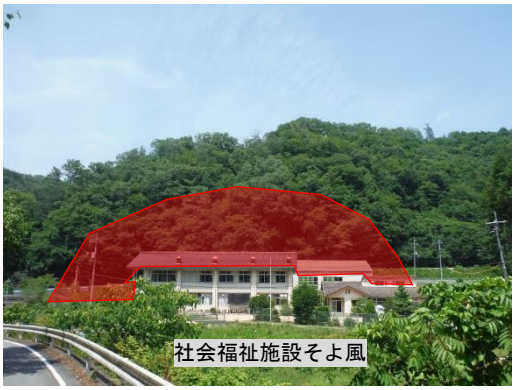
本市は中国山地を北部に、その支脈が東部・南部に展開する地形と、流紋岩、安山岩を基岩とする崩壊しやすい地質のため、集中豪雨などで、がけ崩れによる大きな災害が生じております。

【課題】

近年頻発している集中豪雨により、各地で大規模な土砂災害が発生しています。

市内の急傾斜地の崩壊に係る土砂災害警戒区域は、2,519箇所にのぼり、住宅地の多くは山林の麓に密集しており、住宅に隣接して急傾斜地があります。

【1 横畠地区】



このような状況の中で、平成30年７月の豪雨により、本市においてもがけ崩れが多数発生し、今後も集中豪雨等により新たな崩壊の危険が極めて高い状況にあります。

提案の内容

広島県が急傾斜地崩壊危険区域を指定するなど、事業促進を図っておられる、次の事業箇所の早期完成に格別のご配慮をお願い申し上げます。

【補助事業】

優先順位	提案箇所（地域名）	事業概要
1	横畠地区（水越町）	法面工・待受擁壁工
2	山崎地区（総領町下領家）	法面工・待受擁壁工
3	比和友定平地区（比和町）	法面工・待受擁壁工
4	中川西地区（川西町）	法面工・待受擁壁工
5	峰田赤川地区（峰田町）	法面工・待受擁壁工
6	地明地区（西城町）	法面工・待受擁壁工
7	本谷地区（口和町）	法面工・待受擁壁工

ストック効果

○ 急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を保護します。
○ 地域住民の安全・安心が確保されます。
○ 災害時の避難経路が確保されます。

都 市 基 盤 の 整 備

庄原市都市再生整備計画（庄原地区３期）事業



市道西浦下線（まちなか広場　令和８年４月９日オープニングセレモニー）

提案の主旨

中心市街地の道路網の整備について
都市計画道路の早期整備
（都）上野公園線（一般県道中領家庄原線）
（国土交通省 都市局）（土木建築局）

現状及び課題

【現状】

中心市街地においては、都市計画道路である高小路線や、駅前新庄線が整備され、利便性の高い交通網の確保や、災害時の緊急輸送路など防災対策について計画的に取り組みが進められております。

【課題】

都市計画道路上野公園線（一般県道中領家庄原線）は、バス路線に指定されておりますが、幅員が狭隘で大型車両の離合が困難な状況です。

また、児童生徒が通学路として利用しておりますが、歩道がないため路肩を通行しており、大変危険な状態です。さらに、高齢者や障害者等が安心して通行できないことも課題となっております。

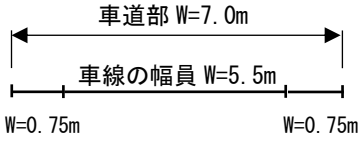
提案の内容

庄原市は、防災・減災対策など安心で安全なまちづくりを推進するため、公園整備や道路整備などの各種事業を実施しております。上野公園線は、昭和33年に都市計画決定された都市計画道路で、広島県庄原庁舎から上野公園までを結ぶ重要路線であり、また通勤・通学路として利用の多い路線でもあります。しかしながら、車道及び歩道は狭隘で、安全面が課題となっております。

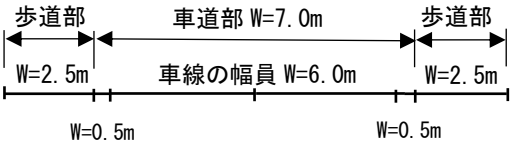
広島県におかれましては、早期の整備をよろしくお願いいたします。

路線名	事業概要
（都）上野公園線	道路整備工事

○現況幅員 W=7.0m



○都市計画決定幅員 W=12.0m



ストック効果

○ 道路の多重性を図ることで救急車や消防車等の緊急車両の通行及び緊急物資の輸送が円滑となり、地域の防災力が強化されます。

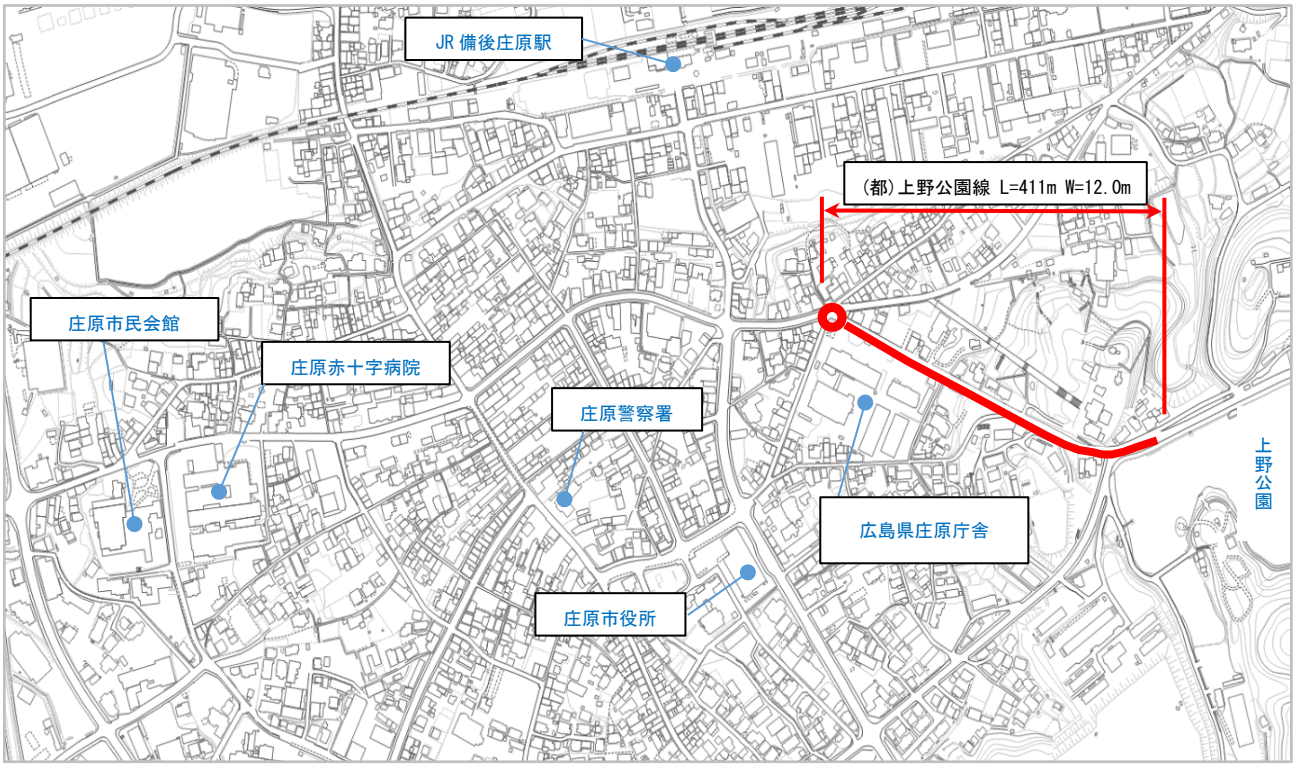
○ 本路線は、通学路に利用されており、近隣の学校に通う児童生徒の安全が確保されます。

○ 庄原市東部地区から基幹病院である庄原赤十字病院及び市民会館など都市機能へのネットワークが強化され、市民の利便性の向上が期待されます。

○ 歩車道分離された歩道が整備されることにより、高齢者や障害者の安全・安心が確保されるとともに、居心地がよく、歩きたくなる歩行空間が創出されます。

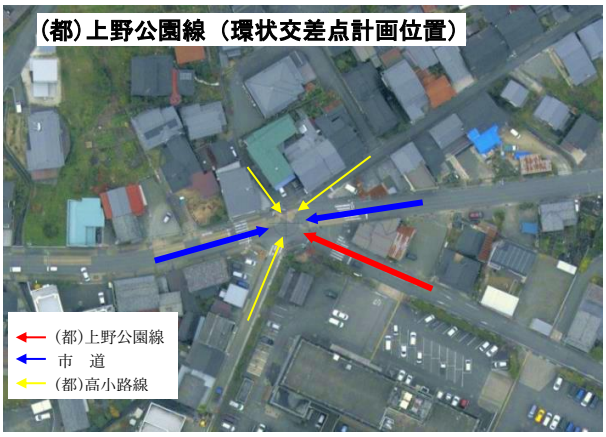
○ 公共交通がネットワーク化されることにより、ＪＲ備後庄原駅から上野公園間のアクセスが向上され、交通結節点への連結性が強化されます。

位置図

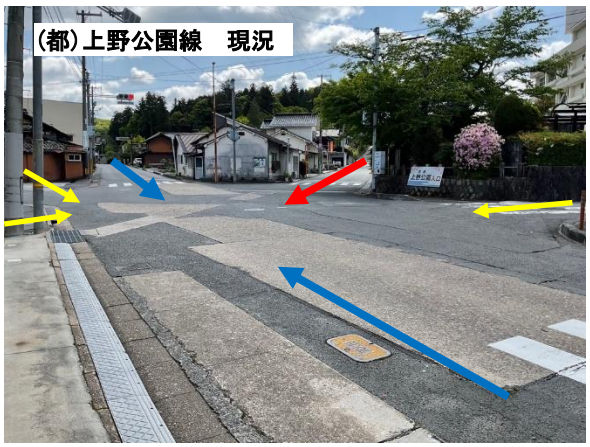

JR 備後庄原駅
(都)上野公園線 L=411m W=12.0m
庄原市民会館
庄原赤十字病院
庄原警察署
広島県庄原庁舎
庄原市役所
上野公園

状況写真


(都)上野公園線　現況


(都)上野公園線（環状交差点計画位置）
(都)上野公園線
市　道
(都)高小路線


(都)上野公園線　現況
0.8m


(都)上野公園線　現況

提案の主旨

中心市街地の道路網の整備について
都市計画道路の推進
（都）本町板橋線（１工区）（市道中本町西原線）
（国土交通省 都市局）（土木建築局）

現状及び課題

【現状】

都市計画道路本町板橋線（市道中本町西原線）は、昭和33年に都市計画決定された延長1.4ｋｍ、現況幅員９～11ｍの道路で、市役所や警察署が立地する市街地と国道183号を結ぶ路線となっております。沿線には庄原小学校、庄原幼稚園、庄原実業高等学校や小児科診療所、ＪＡ、商店が立地するなど、中心市街地の骨格となる路線であり、多くの歩行者が利用しております。

【課題】

多くの児童生徒が通学路として利用しておりますが、歩道幅員は狭隘で片側しか歩道が無い区間もあるなど、大変危険な状態です。また、歩道部は段差が多く、高齢者や障害者等が安心して通行できないことも課題となっております。さらに、隣接する庄原小学校は庄原市地域防災計画において避難所に指定されているため、災害時の電柱倒壊による道路の閉塞を防ぐ無電柱化を推進することにより、迅速な避難が可能となるよう防災機能の強化を図ることも求められております。

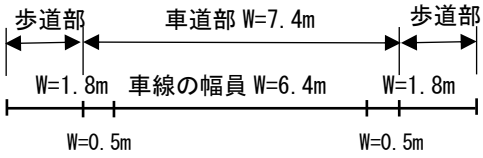
提案の内容

当該路線の整備により、防災機能の強化をはじめ、道路のバリアフリー化により安全で快適に暮らせる道路空間を創出することで、賑わいのあるまちづくりにも寄与するものと考えております。都市計画道路本町板橋線の整備事業について、格別のご配慮をお願い申し上げます。

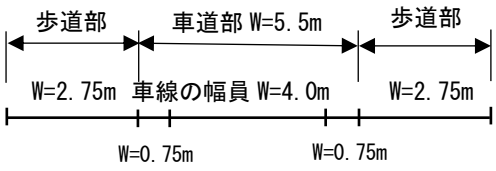
路線名	事業概要
（都）本町板橋線（１工区）	電線共同溝・道路整備工事

都市計画決定幅員 W=11.0m

○現状幅員構成



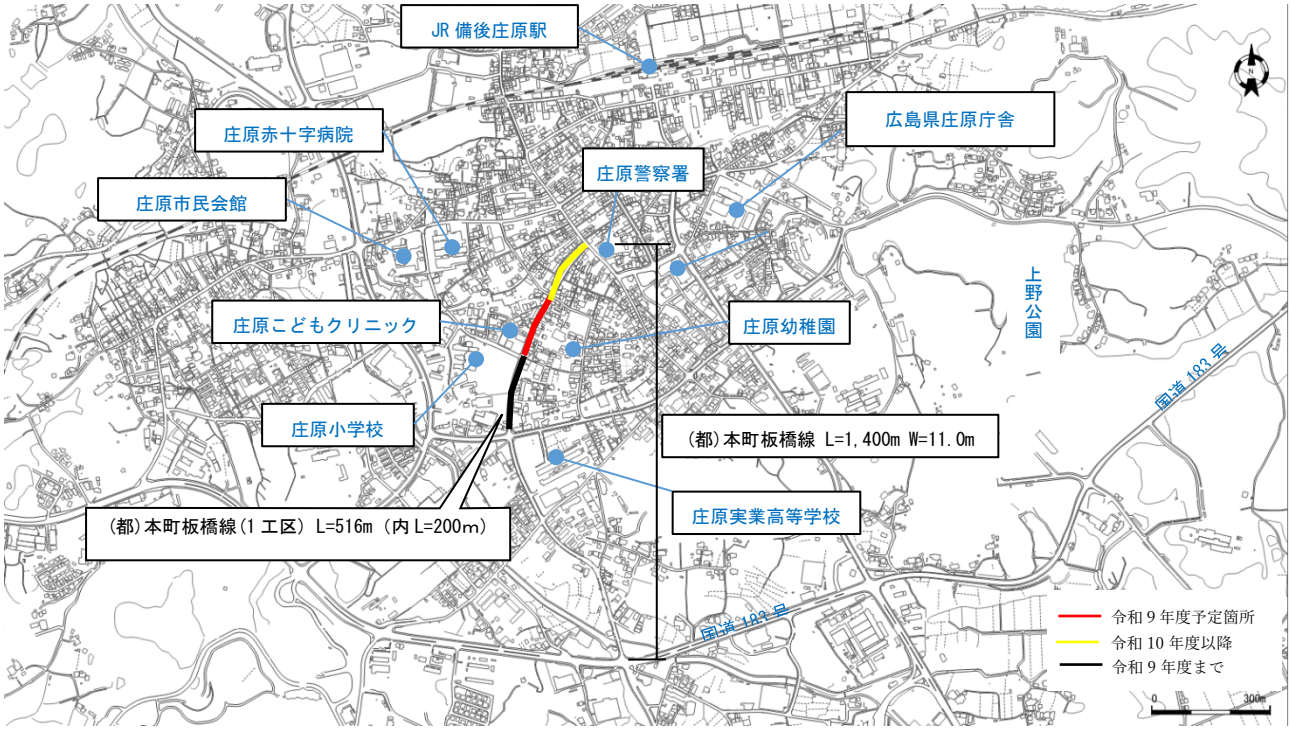
○計画幅員構成



ストック効果

○　歩道を拡幅し両側に設けることにより、通学路を利用する児童生徒の安全が確保されます。
○　誰もが安全・安心で、居心地が良く歩きたくなるような歩行空間が創出されます。
○　災害時の電柱の倒壊による道路封鎖を防ぐことで地域の防災力が強化されます。
○　市民の利便性向上や賑わいや魅力の向上に繋がり、市街地への居住誘導が期待できます。

位置図



状況写真

(都)本町板橋線　現況（起点側）



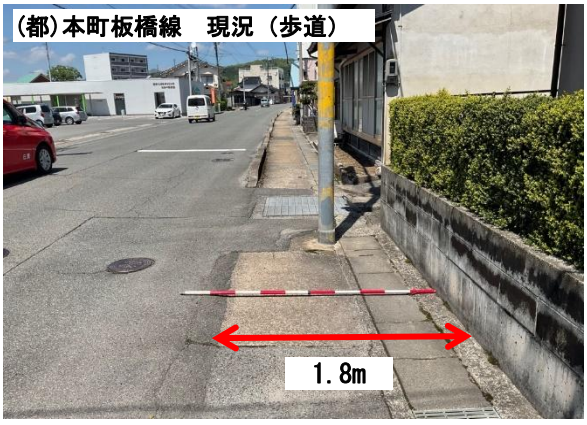
(都)本町板橋線　現況（中間）



(都)本町板橋線　現況（終点側）



(都)本町板橋線　現況（歩道）



提案の主旨

公共下水道の長寿命化の推進について（国土交通省 水管理・国土保全局）（土木建築局）

現状及び課題

【現状】

比和浄化センターは庄原市比和町木屋原（こやばら）に位置し、関係住民約300人分の下水処理を行っております。

平成16年に供用開始し、22年が経過しており、設備の老朽化により頻繁に修繕等が必要な状態で、計画的かつ早急な大規模改築が必要となっております。

【課題】

比和浄化センターが機能停止となった場合は、市民約300人の日常生活に大きな支障を生じます。

安全・安心な市民生活を確保し、また、安定した下水処理を実施するためにも、計画的な改築による浄化センターの長寿命化が必要となっております。

提案の内容

比和浄化センターは、庄原市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、設備改築更新工事について、令和６年度からの５年間で実施する計画としております。

提 案 件 名	事業概要	交付金名
比和浄化センター 改築更新工事	設備改築工事	社会資本整備総合交付金（防災・安全）

安全・安心な市民生活を確保するため、公共下水道の長寿命化の推進に格別のご配慮をお願い申し上げます。

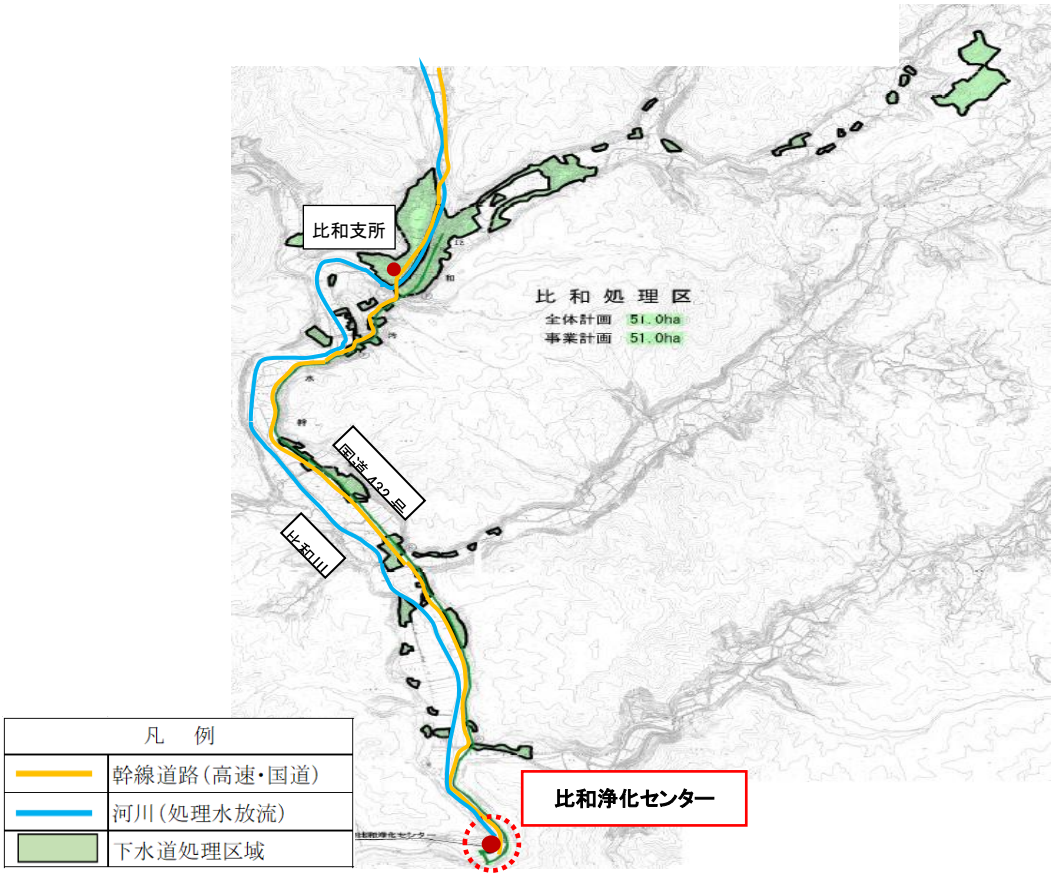
ストック効果

長寿命化を含めた計画的な改築事業を実施することで次の効果が得られます。

○ 浄化センターの機能が発揮され、適正かつ安定した下水処理が行われることにより、公共水域の水質保全が確保されます。

○ 浄化センターの機能が維持され、地域住民の安全・安心が確保されます。

位置図（比和処理区）

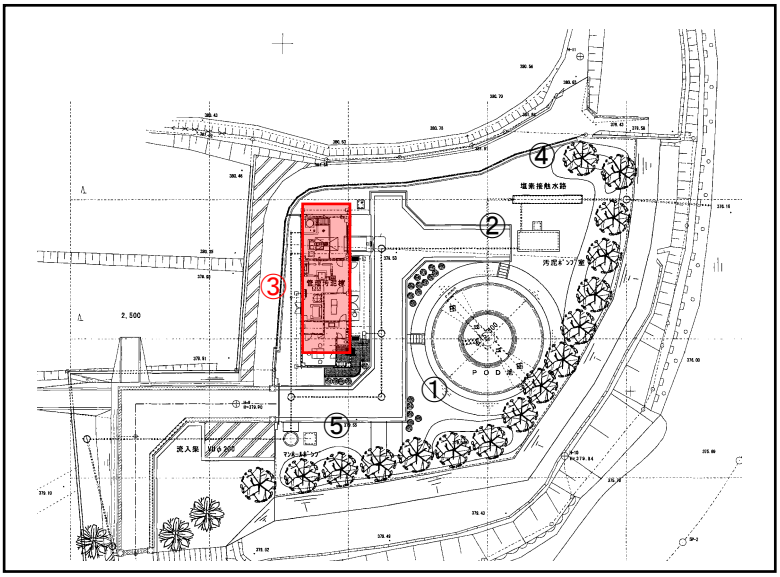


状況写真

比和浄化センター



配 置 図



凡例

① オキシデーションディッチ・最終沈殿池

② 汚泥ポンプ室

③ 管理汚泥棟

④ 塩素接触水路

R9 改築工事予定箇所

地域振興基盤の整備



イザナミ伝説の象徴「吾妻山（あづまやま）」



国指定天然記念物「雄橋（おんばし）」



人と人、地域をつなぐ「芸備線」

提案の主旨

比婆道後帝釈国定公園「帝釈峡」内の環境整備について（広島県環境県民局）

現状及び課題

【現状】

庄原市東城町と神石高原町にまたがる国定公園帝釈峡は、全長18kmの帝釈川流域とその下流の神龍湖及び天然橋「雄橋（おんばし）」に代表される全国有数の名勝地であります。

これまでの主要事業等に関する提案等により、神龍湖駐車場トイレ、上帝釈第１駐車場トイレ、第２駐車場トイレ、マス池のトイレについて整備を完了されました。また、頻発する豪雨により漂着した流木や廃棄物等の撤去などに取り組まれております。

例年発生の見られたアオコにつきましては、令和６年４月から８月までの期間において、発電所の機能維持工事のため、洪水吐（こうずいばき）ゲートを常時開放されたことにより、アオコ発生及び、魚の酸欠死は確認されませんでしたが、令和７年度は従前のフラッシュ放流のみの対応となり、雨の少ない猛暑となったこともあって、アオコが大量に発生し、透明度の低下や悪臭など、周辺の環境に甚大な影響が及びました。令和７年９月には地元団体から対策の要望が本市および神石高原町に提出され、それを受けた両自治体から、令和７年11月に県への対策の要望を行うに至ったところです。

また、遊歩道においては、令和７年11月に雄橋で発生した落石事故により、雄橋の周辺が通行止めとなっております。観光客数は明らかに減少しており、対策完了まで時間を要する見込みであることから、今後の観光客離れについて深刻な懸念があります。

【課題】

上記のとおり公園内の環境改善に取り組まれていますが、遊歩道や帝釈川には、倒木や土砂が堆積している箇所があるほか、大雨の影響により神龍湖内に流木や廃棄物等が大量に漂着する状況が頻繁に生じています。さらに、アオコの発生に関しては、洪水吐（こうずいばき）ゲートの常時開放により、発生抑止効果が見られたものの、従前のフラッシュ放流のみの対応となったところ、大量発生するに至りました。

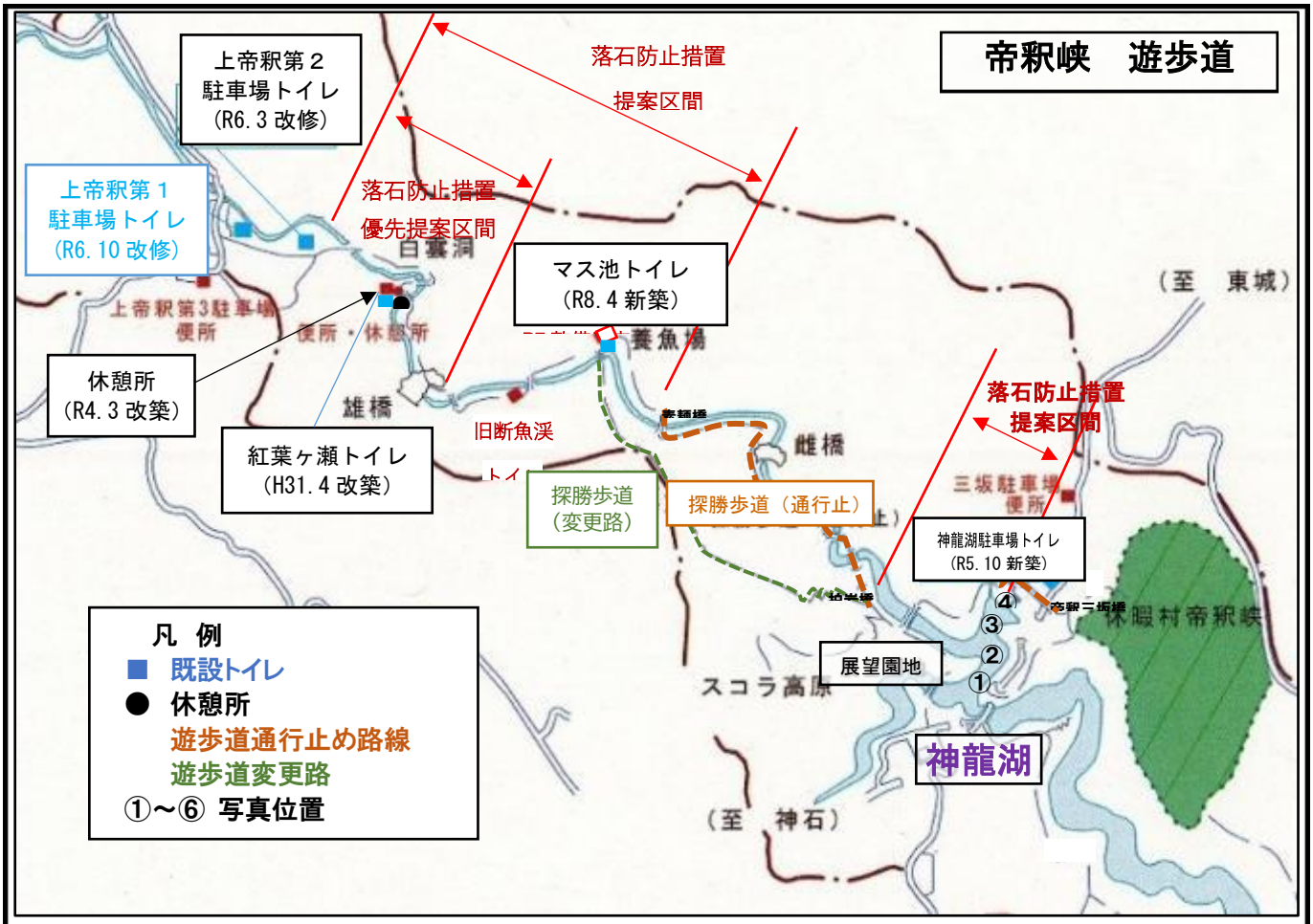
また、遊歩道においては、落石や倒木により平成８年からルートを変更して通行できるように対策を講じられていますが、帝釈峡固有の自然美豊かな渓谷を満喫できるコースとは言えず、通行止め以降、観光客は大幅に減少し、地域振興に影響を及ぼしてきました。その中で、この度の落石事故の発生により、上帝釈エリアのシンボルである雄橋までの通行ができなくなり、更なる観光客の減少を招いています。さらに、遊歩道沿いの樹木は立ち枯れしているものもあり、倒木の危険が高まっており、観光客が安全に散策できない状況にあります。

提案の内容

本市が誇る地域資源であり、令和５年に名勝指定 100 年・国定公園指定 60 年を迎えた帝釈峡一帯の振興を図るため、国定公園帝釈峡内のさらなる環境整備及び改善を提案します。

○　今年度も実施予定である、流木・漂着物等の定期的な撤去・処分に加え、神龍湖におけるアオコ対策及び公園内の倒木や帝釈川の堆積土砂撤去など、自然公園としての環境の保全と景勝地保護に向けたさらなる取り組みをお願い申し上げます。

○　上帝釈第２駐車場から雄橋までの遊歩道の落石防止措置を最優先に取り組んでいただき、安全を確保するとともに、雄橋を見ることができる環境の整備、また、特に景観に優れる南側から雄橋を眺めることができる環境の可能な限り早期の復活を進めていただきますようお願い申し上げます。あわせて、これまでも要望している、より広範な遊歩道の落石防止措置についても対応をお願いいたします。





① 神龍湖湖面の状況（R7.７.15 撮影）



② 神龍湖湖面の状況（R7.７.15 撮影）



③ 神龍湖湖面の状況（R7.７.15 撮影）



④遊歩道通行止めの状況(R7.７.15 撮影)

提案の主旨

比婆道後帝釈国定公園「比婆山連峰」の環境整備について（広島県環境県民局）

現状及び課題

【現状】

比婆道後帝釈国定公園「比婆山連峰」は、神話と自然の宝庫であり、初夏から紅葉時期にかけて多くの登山客に親しまれております。

県におかれましては、令和３年度に立烏帽子駐車場のトイレ整備をはじめ、登山道の整備などに取り組まれています。

【課題】

吾妻山については、現在休暇村吾妻山ロッジの解体作業が進んでいるところであり、今後はキャンプ場も施設の解体・撤去が行われる予定ですが、素晴らしい眺望や希少な動植物に恵まれた登山・学習のフィールドとしての魅力が損なわれたわけではなく、今後も利活用を進めていくためには、トイレ等の拠点機能の維持が必要不可欠です。

また、県民の森は、令和５年４月から公園センターにおける宿泊、レストラン（平日）、入浴が利用休止となり、現在は廃止となりました。さらに、キャンプ場をはじめとする施設の老朽化により、利用者ニーズに十分対応できていない状況にあります。

提案の内容

交流人口の増加によるにぎわいづくり、国定公園の利活用の推進を図る上でも、緊急性の高い次の点について、早急な施設整備等を提案します。

○　吾妻山集団施設地区の再整備

吾妻山集団施設地区については、吾妻山ロッジの閉館以降も使用を継続してきたキャンプ場トイレが閉鎖となり、現在は仮設トイレで対応しておりますが、常設トイレと比べて環境・衛生面で劣ることから、利用者から早期の常設トイレ復活を望む声が上がっています。

現在、地元の意見も聴いていただく中で、あらたな休憩施設、常設トイレの整備について前向きなご検討をいただいているところですが、特に常設トイレについては、復活を望む声が非常に強いことから、改めまして可能な限り早期の整備をお願いいたします。

また、各施設の解体から新たな施設整備までの仮設トイレ等の対応については、様々にご配慮をいただいているところではございますが、参考になる前例も無い中で、水の確保や冬季の凍結対策、草刈り・環境整備作業における電源不足といった、事前には想定していなかった事案も発生しており、今後も不測の事態の発生が予想されます。これらの対応において地元の負担が少なく済むよう、可能な限り柔軟なご対応をお願いいたします。

○　県民の森公園センター周辺の再整備

公園センターは、比婆山登山の際の拠点として、これまで多くの登山者を中心に利用されています。

一部機能は廃止されましたが、県におかれましては、本市はもとより広島県が誇る重要な観光資源であるとの認識のもと、利用者の利便性確保や地域活性化の観点から、今後の施設運営、整備については積極的かつ前向きなご検討をいただきますとともに、特に老朽化したキャンプ場の早期整備をお願い申し上げます。





吾妻山仮設トイレ（R8.5.14 撮影）



県民の森公園センターの状況（R7.6.4 撮影）



県民の森キャンプ場の状況（R7.7.26 撮影）



県民の森キャンプ場の状況（R7.7.26 撮影）

提案の主旨

鉄道再構築に関する支援制度の拡充について
（国土交通省　鉄道局）

現状及び課題

【現状】

令和５年改正の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」により、全国初として芸備線の備中神代駅から備後庄原駅を特定区間とする「芸備線再構築協議会」が設置されました。あわせて、国の社会資本整備総合交付金に「地域公共交通再構築事業」が追加され、鉄道施設やバス施設のハード整備に対する支援制度が拡充されております。

しかし、運行経費に対する国の支援は、幹線を運行する路線バスへの補助及び生活交通に係る特別交付税措置のみに限定されており、再構築方針に基づく交通モードの運行経費に対する支援は示されておりません。

【課題】

中山間地域の自治体は、人口減少に伴う税収減少と物価高騰等により、既存の地域公共交通の維持に加え、再構築方針に基づく新たな交通モードの運行経費を自治体単独で持続的かつ安定的に確保することは困難な状況にあります。自治体における再構築後の交通モード選択が、国の支援制度の有無や内容によって実質的に限定されてしまう可能性があります。

提案の内容

再構築協議会の再構築方針に基づく交通モードについて、ハード整備の支援に加えて、運行経費に関する継続的かつ安定的な支援制度の創設を要望します。

ストック効果

再構築方針に基づく交通モードが、地域住民や観光等の来訪者にとって利便性・生産性・持続可能性が確保された交通モードとなるよう、再構築協議会における検討の実効性を確保していくことが重要と考えております。

また、自治体における再構築後の交通モード選択が、国の支援制度の有無や内容によって実質的に限定されず、地域の実情に応じた最適な交通モードを主体的に選択可能なものとするべきであると考えております。

提案の主旨

芸備線再構築方針を踏まえた持続可能なまちづくりへの連携支援について

（広島県地域政策局）

現状及び課題

【現状】

芸備線の備中神代駅から備後庄原駅までの区間において、全国初の再構築協議会が設置され、再構築方針の策定に向けた調査・実証事業及び議論が進められております。

再構築方針には、関係者において十分に協議した上で、地域におけるまちづくりや観光振興等の取組の方向性と最も整合的な地域公共交通のあるべき姿を定めることとなっております。

【課題】

芸備線沿線地域においては、人口減少や少子高齢化が進行する中、通学・通院等の日常生活を支える持続可能な地域公共交通の確保が重要と考えます。

また、再構築協議会において作成する再構築方針は、単なる交通手段の選択にとどまらず、地域の将来像や暮らしのあり方、観光振興・交流促進に繋がる広域交通ネットワークの充実など、まちづくりの方向性に関わる重要な判断を伴うことから、沿線自治体のみの視点で導き出すには限界があります。

提案の内容

再構築方針における、まちづくりや観光振興等の取組の方向性と最も整合的な地域公共交通のあるべき姿の実現に向けては、沿線自治体、鉄道事業者を含めた関係者が、鉄道を維持する場合も、バス等の他の交通モードを最適化する場合も、その実現に向けて最大限協力するとされております。

芸備線再構築の協議を契機に、本市が取り組もうとする持続可能な地域社会の実現や地域活性化に向けて、引き続き沿線自治体と一体となった取組や調整にご尽力いただくようお願い申し上げます。

ストック効果

国に対する支援策の拡充の要望や、ＪＲ西日本との具体の議論等、今後の取組においても、広島県と基礎自治体である本市の連携と協働がよりよい結果を導き出すことにつながると考えます。

今後においても、広域的観点から関与いただくことで、中山間地域自治体単独では対応が困難な交通ネットワークの維持・再編や、地域交通とまちづくりが連携した持続可能な地域づくりの推進が期待されます。